

四條畷市公共施設再編検討会

報告書

令和4年1月

四條畷市公共施設再編検討会

もくじ

はじめに	1
第1章 四條畷市公共施設再編検討会の概要.....	1
1. 検討会の概要.....	1
(1) 目的	1
(2) 委員	1
2. 検討にあたっての前提条件	2
(1) 公共施設再編の基本的な考え方	2
(2) 検討対象施設	2
第2章 本検討会での検討事項.....	5
1. 全体再編の検討事項	5
2. 各施設の検討事項.....	5
第3章 本検討会の開催状況.....	9
第4章 検討過程における意見	12
1. 全体再編について	12
2. 検討対象施設について	14
第5章 検討結果および提言	20
1. 全体再編について	20
2. 検討対象施設について	21

はじめに

人口縮小社会に突入した日本において、私たちの身近にある“公共施設”のあり方が問われています。公共施設は、高度経済成長や人口増加を背景に増加を続けてきました。しかし、施設の建替えやメンテナンスが滞るなかで老朽化が進展し、次々と耐用年数を迎えています。また、災害に備える耐震化に限界がある施設も多く見受けられます。今後、公共施設をどのように利用・運用していくのか、そして、いかに次世代に引き継いでいくのか、全国の自治体が取り組まなければならない重要な課題となっています。

この課題への対応は、四條畷市においても例外ではありません。人口減少や財政状況の悪化を背景に、これまでと同様に公共施設を維持し続けることは市政にとって大きな負担です。そうした負担は、市民サービス全体にも悪影響を及ぼしかねません。社会状況や市の将来を見据え、総合的かつ計画的に公共施設のあり方を考えていかなければならない状況にあります。

四條畷市公共施設再編検討会は、令和2年8月26日以来、こうした市内の公共施設における再編のあり方をテーマに会議を開催し、議論を積み重ねてきました。本検討会の名称の通り、このような「再編」を前提とした検討は、ともすれば施設の統合・廃止のみに議論が終始してしまう恐れもありました。本検討会では、将来の財政的負担軽減を念頭に置きつつも、できる限り市民サービスの水準が低下しないよう、市民目線での検討を進めました。

この報告書は、本検討会の議論の成果として、市の公共施設再編に対する方向性のあり方をとりまとめたものです。今後、市で進んでいくであろう公共施設再編にあたっては、中長期的な視野に立った合理的な計画、そして、民主的な合意形成プロセスが必要です。本報告書がその際の指針として寄与するものとなれば幸いです。

令和4年1月

四條畷市公共施設再編検討会

委員長 小田切 康彦

第1章 四條畷市公共施設再編検討会の概要

1. 検討会の概要

(1) 目的

本検討会は、四條畷市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）に基づき、中長期的な視点に立った適正な公共施設の配置や規模などに関し、多角的な視点から今後の公共施設のあり方について必要な事項の検討を行うことを目的としています。

(2) 委員

本検討会委員は、1号委員（学識経験を有する者）2名、2号委員（公共施設の関係団体の代表者）8名、3号委員（市民）3名、4号委員（市長が適当と認める者）2名、合計15名で構成しています。

No.	区分		氏名
1	1号	学識経験を有する者	こたぎり やすひこ ◎小田切 康彦
2		学識経験を有する者	ささき あつし 佐々木 厚司
3	2号	公共施設の関係団体の代表者（歴史・文化関係）	おおし ひろこ 大年 弘子
4		公共施設の関係団体の代表者（スポーツ・レクリエーション関係）	こてら まさる ○小寺 勝
5		公共施設の関係団体の代表者（高齢福祉関係）	いしい まさひこ 石井 政彦
6		公共施設の関係団体の代表者（子育て関係）	いちばやし ともよ 市林 朋代
7		公共施設の関係団体の代表者（障がい福祉関係）	もりや たかし 守屋 隆
8		公共施設の関係団体の代表者（学校教育関係）	ふくい たけと 福井 健人
9		公共施設の関係団体の代表者（商工関係）	さわの まこと 澤野 誠
10		公共施設の関係団体の代表者（事業者関係）	たむら ふさこ 田村 房子
11	3号	市民	やまぐち くみこ 山口 久美子
12		市民	かわかつ ひろや 川勝 寛也
13		市民	はせ あんな 長谷 晏奈
14	4号	市長が適当と認める者	たなか こうじ 田中 耕司
15		市長が適当と認める者	みわ まこと 三輪 真

◎委員長 ○副委員長

2. 検討にあたっての前提条件

(1) 公共施設再編の基本的な考え方

令和2年1月に策定した四條畷市個別施設計画【公共施設】（以下「個別施設計画」という。）は、総合管理計画に基づく施設ごとの具体的な取組方針や整備計画等を示すもので、今後の人口動態や財政見通しはもとより、市民ニーズ等の変化を踏まえつつ、施設総量（総延床面積）の最適化やコンパクトな市域に見合う施設の再配置の実現を図るため、中長期的な視点をもって、公共施設の更新、統廃合、複合化等の方向性を定めており、公共施設再編に取り組む5つの視点を掲げています。

- ① 施設総量（総延床面積）の最適化
- ② コンパクトな市域に見合う施設の再配置
- ③ 利用状況やコストを勘案した効率的な施設運営
- ④ 誰もが利用できる魅力ある複合施設
- ⑤ 学校跡地における安心安全の確保やにぎわい創出

(2) 検討対象施設

個別施設計画では、計画策定時に再配置や規模などに関して、多方面にわたり様々な意見があった15施設については、継続検討する方針としており、これらの施設の今後のあり方を本検討会で検討するものとしています。

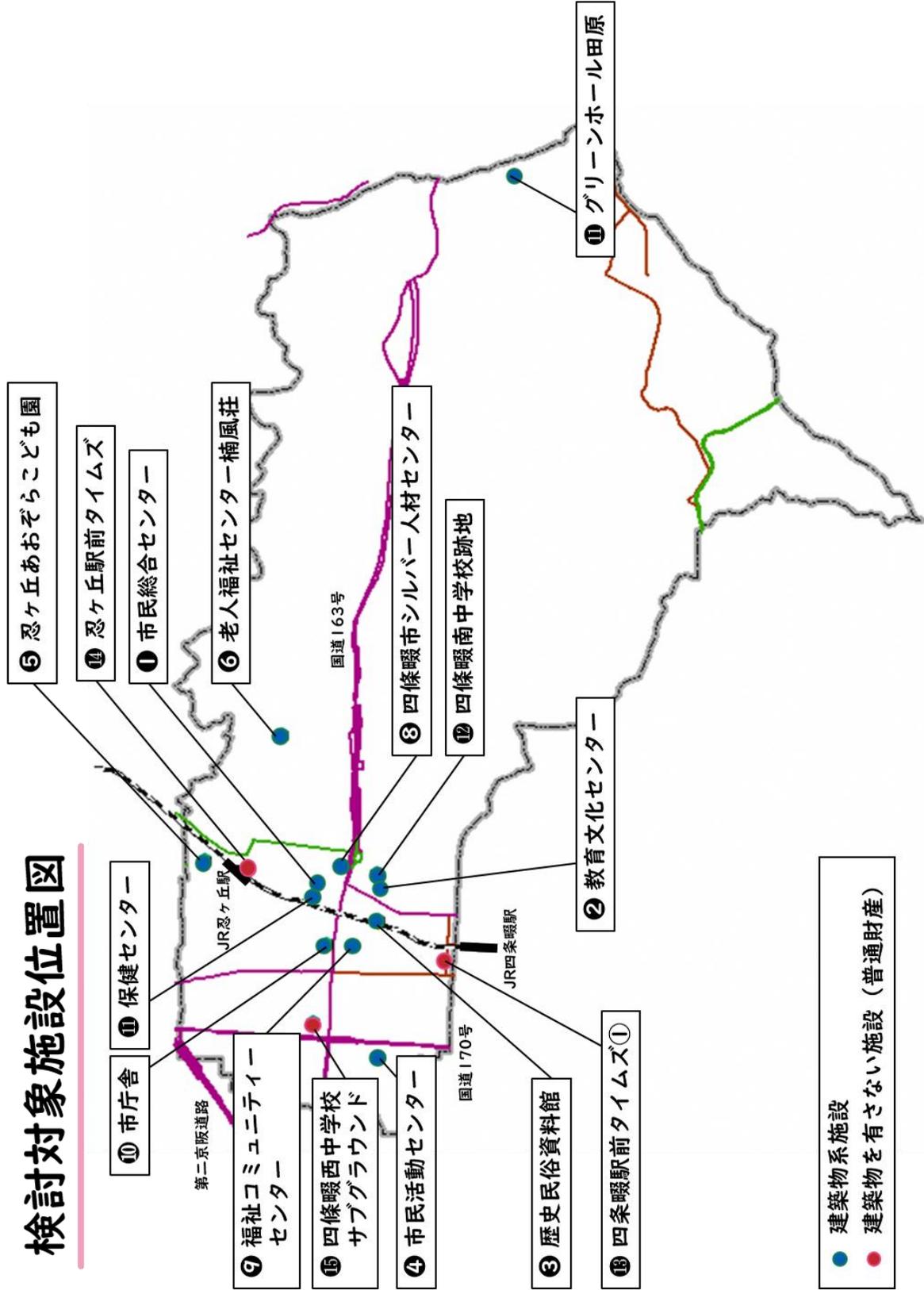
(建築物系施設)

No.	施設名	施設類型		建築 年度	敷地面積 (㎡)	建物総延床 面積(㎡)
		大分類	中分類			
①	市民総合センター	市民文化系施設	文化施設	1981	8,672.33	5,011.13
②	教育文化センター	市民文化系施設	文化施設	1974	1,557.22	743.29
③	歴史民俗資料館	社会教育系施設	博物館等	1985	1,365.28	492.08
④	市民活動センター	スポーツ施設	スポーツ施設	1978	7,240.00	5,550.55
⑤	忍ヶ丘あおぞらこども園	子育て支援施設	幼・保・こども園	1971	3,564.00	1,350.55
⑥	老人福祉センター楠風荘	保健・福祉施設	高齢福祉施設	1975	1,395.75	794.33
⑦	保健センター	保健・福祉施設	保健施設	1985	1,278.43	1,272.60
⑧	四條畷市シルバー人材センター	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	1969	1,335.55	768.05
⑨	福祉コミュニティセンター	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	1975	647.00	765.60
⑩	市庁舎	行政系施設	庁舎等	1964	7,048.12	5,800.74
⑪	グリーンホール田原	行政系施設	庁舎等	1992	2,574.40	4,310.90
⑫	四條畷南中学校跡地	行政系施設	その他行政系施設	1972	20,323.00	8,392.00

(建築物を有さない施設)

No.	施設名	施設類型	敷地面積(㎡)
⑬	四条畷駅前タイムズ①	普通財産	1,913.13
⑭	忍ヶ丘駅前タイムズ	普通財産	1,013.58
⑮	四條畷西中学校サブグラウンド	普通財産	1,248.37

検討対象施設位置図



第2章 本検討会での検討事項

1. 全体再編の検討事項

現状における検討対象施設(15施設)の今後の方針については、いずれも「継続検討」となっていることから、本検討会では、公共施設再編の基本的な考え方にに基づき、中長期的な視点に立ち、対象施設全体の再編に向けた適正な配置や規模などを検討します。

2. 各施設の検討事項

個別施設計画において継続検討の対象とした施設の検討事項は以下のとおりです。

①市民総合センター

社会教育と生涯学習等の文化活動の拠点として設置した施設であり、市民ホール、四條畷図書館、貸部屋を多数管理する公民館機能を有している複合施設である。

建物の老朽化が進行しており、改修工事を行う時期を迎えようとしている。

②教育文化センター

社会教育と生涯学習等の文化活動を行う目的で設置した施設であり、貸部屋の機能を有している。

利用率の低い貸部屋があり、建物は耐震化を実施しておらず、老朽化も進行している。

③歴史民俗資料館

歴史民俗資料等の保管、展示を行う目的で設置した施設であり、前面道路は、京都と高野山を結ぶ東高野街道であり、展示室の一室は、明治40年建築された枚方区裁判所の出張所で、国の登録有形文化財となっている。

現在の立地場所は、前面道路の幅員が狭く大型車両の通行が難しく、駐車台数も少ない。

④市民活動センター

自主的な生涯学習活動及びコミュニティ活動の場を提供することも目的に設置した施設である。

体育館と貸部屋の機能を有しており、体育館、貸部屋ともに利用率は高い。

また、建物内には、貸部屋以外に社会福祉協議会等の事務所も設置されている。

建物は、耐震化を実施しておらず、老朽化も進行している。

⑤忍ヶ丘あおぞらこども園

就学前の子どもの保育、教育、子育て支援の総合的なサービスの提供を行うために設置した施設であり、施設はしのぶ棟とあおぞら棟で構成している。

いずれの建物も老朽化が進んでおり、あおぞら棟については、耐用年数を超えている。

本市唯一の公立こども園であり、施設の配置場所は、西部地域の北端に位置している。

⑥老人福祉センター楠風荘

高齢者の心身の健康や安全な生活を送ることを目的に設置された施設であり、図書室や娯楽室、浴場等の機能を有しているが、浴場は、設備の老朽化により、正常な稼働ができないため、利用を停止している。

建物は耐震化を実施しておらず、老朽化も進行している。

本市唯一の公立老人福祉センターであり、施設の配置場所は、西部地域の東端に位置している。

⑦保健センター

各種の検診など市民の健康増進を目的に設置された施設であり、施設の設置場所が市庁舎と離れていることから、妊婦等の手続きにおいては、市庁舎と保健センター間での移動が伴う。

⑧四條畷市シルバー人材センター

公共施設を使用して、公益社団法人四條畷市シルバー人材センターが事務所を設置しており、高齢者等の就業機会を目的とする事業を運営している。

建物は耐震化を実施していない。

⑨福祉コミュニティセンター

高齢者や障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を

図ることを目的に設置された施設であり、貸部屋の機能を有している。

貸部屋の利用率は低く、建物は耐震化を実施していない。

⑩市庁舎

行政サービスを提供する主たる事務所であり、市庁舎本館は建替時期を迎えようとしており、老朽化も進行している。

⑪グリーンホール田原

行政サービスを提供する事務所機能や図書館、貸部屋機能を有しており、東部地域における拠点施設として設置している。利用率の低い貸部屋がある。

⑫四條畷南中学校跡地

平成31年3月に閉校となり、現在は遊休施設となっている。跡地を整備するまでの間は、グラウンド部分を市民利用に貸出している。

近接する四條畷東小学校が令和2年3月に閉校となったことから、地域の防災機能を確保するため、体育館と公園を整備することとしているが、体育館だけでは避難所の面積が少ないため、一体的な施設整備の検討が必要である。

敷地の東側半分は、土砂災害警戒区域に指定されており、東端付近には、生駒断層が南北に縦断している。

⑬四条畷駅前タイムズ①

JR四条畷駅西側に位置する土地。将来的には、駅前という立地を生かし、子育てや社会教育施設等の行政サービスが行えるよう検討していくこととし、整備事業に着手するまでの間は、利活用の観点から近隣市や民間企業へ有償貸付を行っている。

⑭忍ヶ丘駅前タイムズ

JR忍ヶ丘駅東側に位置する土地。将来的には、駅前という立地を生かし、子育てや社会教育施設等の行政サービスが行えるよう検討していくこととし、整備事業に着手するまでの間は、利活用の観点から民間企業へ有償貸付を行っている。

⑮四條畷西中学校サブグラウンド

従前は生産緑地であり、生産緑地の指定解除に伴い、平成29年に土地を取得した。

四條畷西中学校と市民総合体育館に隣接する場所に位置している。

整備方針が決定するまでの間は、四條畷西中学校のサブグラウンドとして使用しているが、利用は少ない。

第3章 本検討会の開催状況

本検討会は、令和2年8月から令和3年10月にかけて、合計8回の会議を開催しました。

① 令和2年度第1回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和2年8月26日(水)午後2時から午後4時まで
出席者数	出席15名
主な議題	(第1号)委員長、副委員長の選任について (第2号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・個別施設計画【公共施設】の内容及び検討事項の共有
議事摘録 配付資料	市HP『第1回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/22926.html 

② 令和2年度第2回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和2年10月3日(土)午前10時から午後12時10分まで
出席者数	出席15名
主な議題	(第1号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・四條畷南中学校跡地に係る議論
議事摘録 配付資料	市HP『第2回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/23786.html 

③ 令和2年度第3回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和2年11月7日(土)午後2時から午後4時まで
出席者数	出席13名
主な議題	(第1号)市民団体からの意見書の取扱いについて (第2号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・これまでの意見に係る論点整理 ・対象施設の機能把握・整備方針の考え方
議事摘録 配付資料	市HP『第2回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/24094.html 

④ 令和2年度第4回 四條畷市公共施設再編検討会（オンライン開催）

日 時	令和3年2月27日（土）午前10時から午前11時50分まで	
出席者数	出席14名	
主な議題	（第1号）議事内容の公開について ・議事録公開までの間、録画映像を公開する【決議】 （第2号）四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・再編検討たたき案の内容確認 ・次回の会議の進め方	
議事摘録 配付資料	市HP『第4回四條畷市公共施設再編検討会をオンラインにて開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/26965.html	

⑤ 令和2年度第5回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和3年3月17日（水）午後6時30分から午後8時30分まで	
出席者数	出席15名	
主な議題	（第1号）四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・グループワークによる再編検討	
議事摘録 配付資料	市HP『第5回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/27407.html	

⑥ 令和3年度第1回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和3年6月24日（木）午後6時から午後8時5分まで	
出席者数	出席13名	
主な議題	（第1号）議事内容の公開について （第2号）四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・グループワーク再編案の整理・分析	
議事摘録 配付資料	市HP『令和3年度第1回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/28203.html	

⑦ 令和3年度第2回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和3年7月29日(木)午後6時から午後8時まで	
出席者数	出席12名	
主な議題	(第1号)議事内容の公開について (第2号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・グループワーク再編案の整理・分析(前回からの続き)	
議事摘録 配付資料	市HP『令和3年度第2回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/30895.html	

⑧ 令和3年度第3回 四條畷市公共施設再編検討会

日 時	令和3年10月14日(木)午後6時5分から午後8時まで	
出席者数	出席13名	
主な議題	(第1号)四條畷市公共施設再編検討会の検討事項について ・報告書(案)の内容検討	
議事摘録 配付資料	市HP『令和3年度第3回四條畷市公共施設再編検討会を開催しました。』 URL: https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/33233.html	

(参考)検討対象施設の見学

日 時	令和2年11月7日(土)午前8時45分から正午まで	
出席者数	出席10名	
見学施設	①市民総合センター ②教育文化センター ④市民活動センター ⑤忍ヶ丘あおぞらこども園 ⑥老人福祉センター楠風荘 ⑨福祉コミュニティーセンター ⑫四條畷南中学校跡地	

第4章 検討過程における意見

全体再編や対象施設の配置・規模模などに関する検討過程において、委員から、次のような意見や提案などがありました。

1. 全体再編について

配 置	<ul style="list-style-type: none">• 配置という視点では、集約だけではなく、自宅近くにあると利便性が高い子どもや高齢者に関する機能を分散するという観点も必要• 通常使用しないが災害時に使用できるサブ機能を持たせた施設を、市域西側や田原地区など市内に分散して配置することが重要• 高齢者が利用する施設は、バス停などアクセスに考慮した場所に整備してほしい
機 能	<ul style="list-style-type: none">• 再編により、利便性が低下する機能などは、コンビニ等を活用して地域に分散させることにより、市民の満足度を高めていくことも一つの方法• 建替時の際の一時的な移転先の検討や、今後のあり方が見えてきた段階で具体的な検討、現在は無い新たな機能の整備方法の検討も必要• 東部地域にも防災拠点となる機能を整備• 古い施設はバリアフリーに対応しておらず、高齢者も、障がい者も使いにくい• 最低でも駐車場、多目的トイレ、エレベーターが無い施設は、今後必要ない• 防災拠点については、平時の利用方法により自然と蓄積される物資や情報等が、災害時に有効活用できるような仕組みづくりがあってもいい
特 性	<ul style="list-style-type: none">• 四條畷市は大阪の都心に近く便利であり、かつ自然が豊かなことに加えて、歴史的な資源も豊富であり、驚くべき潜在的な価値があるのではないか• 東西に国道163号、南北に国道170号があり、非常にシンプルで明快な都市構造を有しており、それに沿う形で、機能が集約されていることが、四條畷市として資源的価値がある• 四條畷市は近隣市と併せて『関西学術研究都市』とされており、もっとPRすべき
その他	<ul style="list-style-type: none">• 公共施設再編の検討の視点として、施設へのアクセスの改善、周辺道路整備、耐震性、施設にある設備等の観点も必要• 再編に要する期間が30年というのは長すぎる。もう少し短いスパンで考える

べき

- 30年という長期的な視点で施設再編を検討するため、下の世代へ引き継ぐ意識も重要
- 既存施設機能の有効活用と将来の継続的な利用を考慮した検討を行い、市民のニーズと市の供給コンテンツをマッチさせるなど、再編が完了するまでの期間を埋める工夫が必要
- 新しい機能を付与する場合にはどのような方法があり得るのかという検討も重要
- まず優先して耐震性がない施設から考える
- 建替時期の近い施設から整備を進めていくべき
- 再編整備では、順番や優先順位の考え方を整理する必要がある
- 再編整備にあたっては、検討結果の迅速な実現化を求める。
- 民間活用などを取り入れた『稼ぐ』施設づくり
- 楽しく、来たいと思う施設づくり
- 小中一貫校のような他市に一步リードできる魅力ある教育施設を整備
- 『コンビニ』というのは世の中に既に認知されており、こうした『コンビニ』等を活用して、防災という視点を考える発想が必要
- 『コンビニ』はまちのツールの一つとして既に活用が考えられており、『コンビニ』に地域性を持たせて、行政がどのように手をつないでいくかは、今後の社会問題を抱えていく上でとても重要

2. 検討対象施設について

①市民総合センター

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 駅から徒歩圏内で、大きな駐車場があり、バス停もすぐ近くにあるなど利便性が高く、安全な歩道も整備されていることから、安全性もある • 駅から近いなど、利便性が第一である • 青少年育成のための情操教育という観点からも環境の整った現在の位置が最適である
規 模	<ul style="list-style-type: none"> • 市民ホールの規模は現状維持、または大ホールと小ホールの両方を整備 • 現状のホールの規模は中途半端で使いづらい • アフターコロナを見据えると大規模なホールが求められるだろうか • 駐車場を活用して、商工会館とあわせて建替え整備することも一つの方法 • 市内の公共施設を集めて四條畷市の中心となるような施設を整備 • 現状の場所で、最低1000席以上のホール、他にも2~300席のホールを整備すべき
機 能	<ul style="list-style-type: none"> • 市民ホールに、リモートライブなどができるオンライン設備の整備
特 性	<ul style="list-style-type: none"> • 駅・バス停から近い • 大きな駐車場がある • 青少年育成に重要な文化面での教育施設

②教育文化センター

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 利用率の低い貸部屋機能は、四條畷南中学校跡地へ移転させ、複合施設を整備することにより、多世代が集い、賑わいを創出できるのではないかと • 文化機能とコミュニティ機能については、市民総合センターと共通している機能がある点から市民総合センターへ移転、指定管理者の独自事業である楠正行資料室の機能は歴史教育という観点から、歴史民俗資料館へ移転 • 子育て機能については、分散配置の観点から現在の立地で維持
機 能	<ul style="list-style-type: none"> • 断層が近く土砂災害も起こる可能性のある地域なので、防災センター機能を整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 南中学校跡地へ機能を移転した場合の、当該施設後については、非耐震の

	<p>ため、建物は解体し、敷地の有効活用を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能移転後の敷地については、防災機能を備えた子育て支援施設を整備
--	---

③歴史民俗資料館

配置	<ul style="list-style-type: none"> 国の登録有形文化財である土蔵と一体的に整備された施設であり、東高野街道に接しているなど学術的な価値は高い 配置先について、土蔵にこだわる必要があるのか 土蔵のある土地に施設を建てるにあたって寄附等で尽力された方々の思いや背景を断ち切って良いのかという懸念 周辺道路が狭いなど、アクセス面に課題
特性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路が狭い 旧高野街道に接しており、街道沿いの歴史・文化の貴重な情報が充実している
その他	<ul style="list-style-type: none"> PRできる歴史的コンテンツが豊富にあることから、SNSなどを活用した情報発信、古民家カフェの併設など、ソフト面における取組の検討が必要

④市民活動センター

配置	<ul style="list-style-type: none"> 福祉機能を集約し、福祉の中心施設として国道170号以西の地域に整備 四條畷南中学校跡地へ機能移転させ、複合施設を整備することにより、子育て世代や高齢者世代など多世代が集い、交流できる施設を整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> 四條畷市社会福祉協議会については、福祉施策の中心を担うため、移転先に関わらず、尊重した対応を求める

⑤忍ヶ丘あおぞらこども園

配置	<ul style="list-style-type: none"> 保健センター用地の周辺には、交番や公園が設置されていることから、機能を移転 少子化に伴う小学校の空き教室を活用 高齢者施設とマッチング 新生児の出生状況などからニーズが高くなる地域を検討して配置
----	--

⑥老人福祉センター楠風荘

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者が利用する施設のため、アクセスの良い場所に整備 • 四條畷南中学校跡地へ機能移転させ、複合施設を整備することにより、子育て世代や高齢者世代など多世代が集い、交流できる施設を整備 • 浴場機能を有していることから、防災の視点に立つと、これらの機能を分散配置すれば、有事の際にも利用することが可能 • 『お風呂』というのは、高齢者の憩いの場となっており、市の西側地域については、大型商業施設や銭湯などで活気があるので、南側地域に集約することで、災害時には活用でき、市民にも喜ばれる施設になるのではないかと
-----	--

⑦保健センター

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 国道163号に接しアクセスの良い市庁舎敷地に機能を移転させ、市庁舎と機能を統合し、行政機能の中心施設を整備 • 保健センターは現状の場所で維持
特 性	<ul style="list-style-type: none"> • 近隣に公園があり、子育て支援の施設として良い

⑧四條畷市シルバー人材センター

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉やボランティア機能をシビックゾーンに配置 • 四條畷南中学校跡地へ機能移転させ、複合施設を整備することにより、子育て世代や高齢者世代など多世代が集い、交流できる施設を整備
特 性	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の立地場所は、非常に交通アクセスが良い
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 現在地は国道163号に隣接し、アクセスの良い点から、別の場所に移転させ、他の施設で有効活用 • 老人福祉センター楠風荘の移転先としても良いのではないかと

⑨福祉コミュニティーセンター

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉やボランティア機能をシビックゾーンに配置 • 教育文化センターと類似する機能が多いことから、四條畷南中学校跡地へ機能移転させ、複合施設を整備することにより、子育て世代や高齢者世代な
-----	---

	ど多世代が集い、交流できる施設を整備
特 性	<ul style="list-style-type: none"> • 立地場所が良い • 高齢者の体操などで利用するには狭い
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 移転後の敷地については、隣接する四條畷南小学校の敷地として利用し、先進的な教育の取組を行うことで、子育て世代を呼び込む

⑩市庁舎

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の立地は、国道163号に接しておりアクセスが良いことから、保健センターと統合して整備
規 模	<ul style="list-style-type: none"> • 現状の敷地を十分に有効活用できていないため、整備の際には高層化することで、市のシンボル施設として整備 • 無駄にしているスペースが多いため、敷地の有効活用を図る
特 性	<ul style="list-style-type: none"> • 駐車場が狭い
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 整備の際には、市庁舎の機能を一時移転させる必要があることから、四條畷南中学校跡地の既存校舎を活用 • 今一番差し迫っての問題は、市庁舎の建て替えではないか

⑪グリーンホール田原

その他	<ul style="list-style-type: none"> • 新しく綺麗な施設なので、現状維持 • 情報インフラの整備を含め、スマートシティなどの先進的な取組により、東部地域の拠点施設として期待 • 建築年数を踏まえると、継続して使用できる施設のため、若い世代が集まれるようなジム等の整備や、災害発生時の市役所サブ機能を備えさせる
-----	--

⑫四條畷南中学校跡地

配 置	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の立地は、バスでのアクセスが良く、東部地域からもアクセスしやすい • 広い土地が、四條畷市の平坦なところに残っているので、使わないのはもったいない
機 能	<ul style="list-style-type: none"> • 敷地も広いことから、子ども等のスポーツ広場を整備

	<ul style="list-style-type: none"> • 既存校舎を活用する意見として、耐震工事を実施しており、エレベーターがあることから、その利点を活かし、車いすの方も利用できる施設として、平時は空き教室をカルチャースクールや音楽活動等に活用し、非常時はコロナ禍の避難所として活用 • 四條畷南中学校跡地に複数の機能を集約することで、様々な人が集まりコミュニティが生まれると思うが、機能が1か所に集まりすぎるのは良くないのではないか • 断層や土砂災害などに対する防災意識について、知らず知らずのうちに学習ができるような楽しい施設を整備するのも良い
特性	<ul style="list-style-type: none"> • 活断層がある場所に施設を整備することは危険ではないか • 現状のままでは、汚く使いにくい • グラウンドについては、利用者等の協力により整地され、現在は非常に使いやすい • 四條畷駅からのアクセスが悪い
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症対策も踏まえ、空き教室を小規模単位の避難空間として有効活用 • 施設整備の観点から、福祉機能を集約して、複合施設を整備することにより、多世代が集い交流する施設を整備 • 公共施設再編全般を考える時に、まずは四條畷南中学校跡地の機能を検討することが良いのではないか • 市庁舎建替時の仮庁舎として既存校舎を活用 • 敷地の特性から、活断層や土砂災害警戒区域があるので、不安はあるものの、安心して利用できる活用方法の検討を求める • 国道163号以南の方々が交流できるような施設整備 • 建物の更新周期と活断層の活動周期を同じ机上で議論することは、スケールが違いすぎるのであまり良くない • 跡地活用にあたっては、周辺道路の整備が必要

⑬四條畷駅前タイムズ①

機能	<ul style="list-style-type: none"> • 単一機能ではなく、多目的な利用を検討 • 高齢福祉や子育て支援機能の補完、買物時に子どもを遊ばせることができる屋内プレイルーム、人が集まれる公園・広場・休憩所など、多世代が気軽に利用できる場を整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 駅前という特性を生かし、民間活用により活性化を図る

⑭忍ヶ丘駅前タイムズ

機能	<ul style="list-style-type: none"> • 単一機能ではなく、多目的な利用を検討 • 高齢福祉や子育て支援機能の補完、買物時に子どもを遊ばせることができる屋内プレイルーム、人が集まれる公園・広場・休憩所など、多世代が気軽に利用できる場を整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 駅前という特性を生かし、民間活用により活性化を図る

⑮四條畷西中学校サブグラウンド

機能	<ul style="list-style-type: none"> • 特定の限られた機能とせず、民間活用や多目的に活用 • 高齢福祉や子育て支援機能の補完 • ゲートボール、剣道等できる道場、若い人が集まるフットサル、人が集まる公園・広場の整備
----	---

第5章 検討結果および提言

検討対象である15施設の今後のあり方について、本検討会で検討した結果、次の事項を本検討会での検討結果として提言します。今後は、提言内容を踏まえ検討されたい。

1. 全体再編について

- アクセス面、耐震性の有無、設備の状況などを踏まえ、規模や配置を検討していくうえで、機能集約だけではなく、機能分散していく視点も検討されたい。
- 全体再編により利便性が低下する場合などにおいては、コンビニ等を活用し機能を地域に分散するなどして、課題を解消していくことも一つの方法であり、民間を活用する視点も検討されたい。
- 再編整備について、中長期的な視点で進めていくことから、新たな機能の整備に係る視点も検討されたい。
- 各施設の具体的な規模や整備内容については、全体再編を進める中で検討されたい。
- 喫緊の課題を解消していくため、検討結果を迅速に実現していく視点やソフト面の視点、将来世代に継続して使用できるコンテンツの創出などの視点も検討されたい。
- 新型コロナウイルス感染症の対応や人口減少社会の到来などを経て、様々な価値観が転換しようとしている。今後の社会の変革を見据え、将来の負担を軽減しつつも、市民サービスの維持・向上が図られるよう検討されたい。
- 全体再編に係る整備の順番や優先順位に関しては、様々な論点があることから、本報告書を踏まえて全体再編を検討していく中で、詳細を検討されたい。

2. 検討対象施設について

『配置』『取組の手法』の視点から、各施設における今後のあり方を提言します。

項 目		内 容
配置	維持	現在の位置で施設の機能を継続する。
	移転 ^{※1}	現状の位置から他の場所に変えて、施設の機能を継続する。
	検討	全体再編の検討の中で、維持または移転を検討。
取組の 手法	維持	現在の施設の維持管理（建替含む）を継続する。
	複合化 ^{※2}	既存の異なる機能を一つの施設に統合する。
	集約化 ^{※2}	既存の同種または類似の機能を一つの施設に集約する。
	転用	既存の施設を改修し、他の施設として利用する。
	検討	全体再編の提言を踏まえ検討。

※1 具体の移転先は、各施設における提言内容を踏まえて検討されたい。

※2 複合化及び集約化には、既存の公共施設を改修する手法と建替（再整備）の手法があり、今後の再編整備を検討する中で最適な手法を検討されたい。

※3 配置のうち、施設の機能を有していない場合は、斜線を引いている。

①市民総合センター

配置	取組の手法
維持	維持、複合化

- 現在有している施設機能の配置先は、現在の立地に配置することが望ましい。
その理由として、個別施設計画に西部地域の中央部に配置していくことを位置付けており、当該施設は文化活動等の拠点施設として、その役割を担っていくことから、アクセスの良い場所に配置することにより、市民等の利便性を高めていくことが重要と考えます。当該敷地は、一定の面積を保有しており、かつ西部地域の中央部に位置し、身近なところにJR忍ヶ丘駅やバス停があり、前面道路の幅員や、国道からのアクセスも容易なことから、利便性が高いと考えます。
- 市民ホールの規模に関しては、現状維持または大ホールと小ホールの整備といった意見があった一方で、現状のホールの規模は中途半端で使いづらい、アフターコロナを見据えると大規模なホールが求められるだろうか、といった意見があったことか

ら、更なる検討をされたい。

②教育文化センター

配置	取組の手法
移転	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から、親和性のある機能と統合し、四條畷南中学校跡地へ機能に移転させるという複数意見があった一方で、社会教育機能を歴史民俗資料館へ移転、市民文化及びコミュニティ機能を市民総合センターへ移転することにより、機能の充実性が図れるとの意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

③歴史民俗資料館

配置	取組の手法
維持	維持、集約化

- 現在有している施設機能の配置先は、現在の立地に配置することが望ましい。その理由として、当該施設は、国の登録有形文化財である土蔵とともに整備され、東高野街道に接しているなど、歴史に触れる機会を有しており、これらを一体的に活用していくことが重要と考えます。
- 現在の立地は、周辺道路が狭いなど、アクセス面に課題があることから、来館者を増やすため、SNSなどを活用して情報発信するなどして、豊富な歴史的コンテンツを効果的に活用していくソフト面での取組を検討されたい。

④市民活動センター（体育館および貸部屋の機能を除く）

配置	取組の手法
検討	維持、複合化、集約化

- 国道170号以西の地域は公共施設が少ないことから、現状配置で維持する意見、福祉機能を福祉コミュニティーセンターに集約して拠点施設を整備する意見、多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から、親和性のある機能を統合して、四條畷南中学校跡地へ機能に移転させる意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑤忍ヶ丘あおぞらこども園

配置	取組の手法
検討	検討

- 市の中心部や駅前に配置する意見、子育てのニーズが高まる地域を予測して配置する意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑥老人福祉センター楠風荘

配置	取組の手法
検討	維持、複合化

- 現状配置で維持しつつ、災害時における機能分散の観点から機能の一部を市民活動センター敷地に移転させる意見、多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から四條畷南中学校跡地へ機能に移転させる意見、現状配置以外の場所に配置という意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。
- 高齢者が中心に利用する施設のため、交通アクセスに充分配慮されたい。

⑦保健センター

配置	取組の手法
検討	維持、複合化

- 市庁舎機能と統合することによる利便性向上の観点から市庁舎に機能移転させる複数意見や、現状配置で維持との意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑧四條畷市シルバー人材センター

配置	取組の手法
移転	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から四條畷南中学校跡地へ機能に移転させる複数意見や、福祉機能を福祉コミュニティセンターに集約して拠点施設を整備する意見があったことから、施設機能の配置先については、

更なる検討をされたい。

⑨福祉コミュニティーセンター

配置	取組の手法
検討	複合化、集約化

- 多世代が交流し、賑わいを創出できる施設を整備していく観点から四條畷南中学校跡地へ機能を移転させる複数意見や、福祉機能を当該敷地に集約して拠点施設を整備するため現状維持との意見があったことから、施設機能の配置先については、更なる検討をされたい。

⑩市庁舎

配置	取組の手法
維持	維持、複合化

- 現在有している施設機能の配置先は、現在の立地に配置することが望ましい。その理由として、当該施設は行政サービスの中核となる施設であり、西部地域の中央部に配置することを個別施設計画に位置付けており、その観点に立ち、国道からのアクセスが容易であり、一定の面積を有し、西部地域の中央部に位置する現在の立地に配置することが、最適であると考えます。
- 市庁舎敷地の再整備にあたっては、現状で不足している駐車場や公園を確保するため高層化する意見や、再編整備の着手は市庁舎から行っていくなどの意見があったことから、全体再編を俯瞰して、検討されたい。

⑪グリーンホール田原

配置	取組の手法
維持	検討

個別施設計画に現状維持と示されていることから、ソフト面の取組として、情報インフラの整備を含め、スマートシティなどの先進的な取組み進展させていく意見、若い世代が集まれるようなジム等の機能整備の意見、災害発生時の市役所サブ機能を担っていく意見などあったことから、全体再編を俯瞰して、更なる検討をされたい。

⑫四條畷南中学校跡地

配置	取組の手法
	複合化、転用

- これまで学校施設が担ってきた災害発生時の避難所機能は周辺地域の実情を踏まえ維持していくとともに、校舎棟については、費用対効果を検証のうえ、利活用を検討されたい。
- 当該敷地に集約する機能は、教育文化センター、四條畷市シルバー人材センター及び福祉コミュニティーセンターを集約する複数意見や、これに市民活動センター及び老人福祉センター楠風荘を加える意見があったことから、集約する機能については、更なる検討をされたい。

⑬四條畷駅前タイムズ①

配置	取組の手法
	検討

- 駅前という特性から、民間活用、公園・広場、高齢福祉・子育て支援施設の整備など、幅広い活用が可能なことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

⑭忍ヶ丘駅前タイムズ

配置	取組の手法
	検討

- 駅前という特性から、民間活用、公園・広場、高齢福祉・子育て支援施設の整備など、幅広く活用していく意見があった一方で、現状の機能を維持していく意見もあったことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

⑮四條畷西中学校サブグラウンド

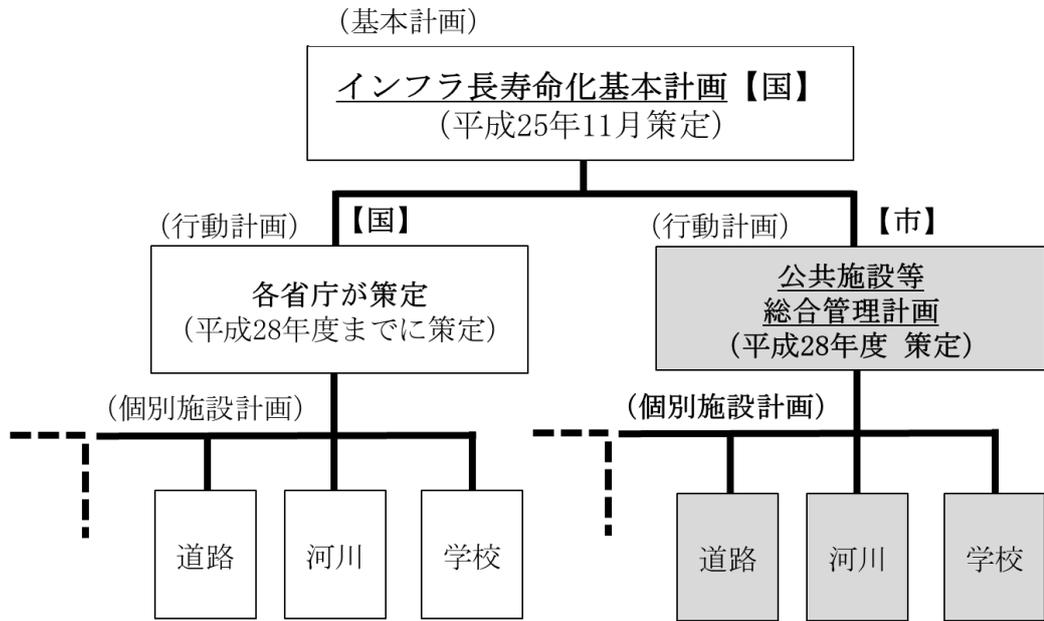
配置	取組の手法
	検討

- 民間活用、公園・広場、スポーツ関係施設など、幅広く活用していく意見があった一方で、現状の機能を維持していく意見もあったことから、全体再編を進めるうえで、最適な活用方策を検討されたい。

資料編

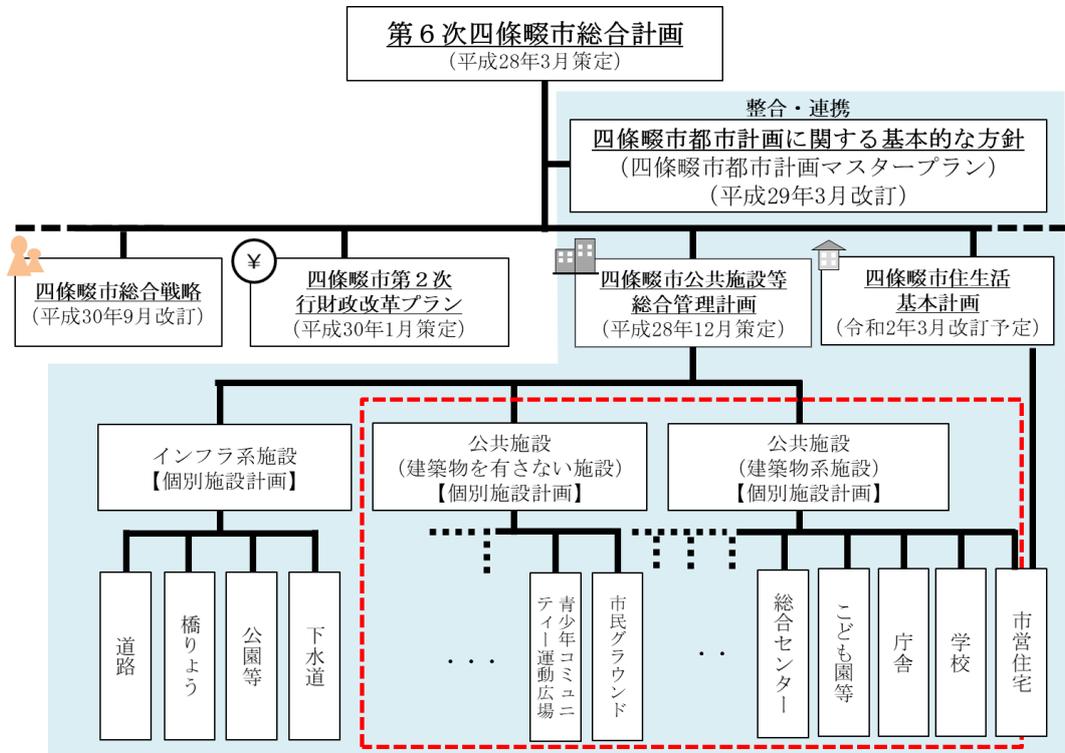
1. 計画等の位置付け

(1) インフラ長寿命化基本計画の体系



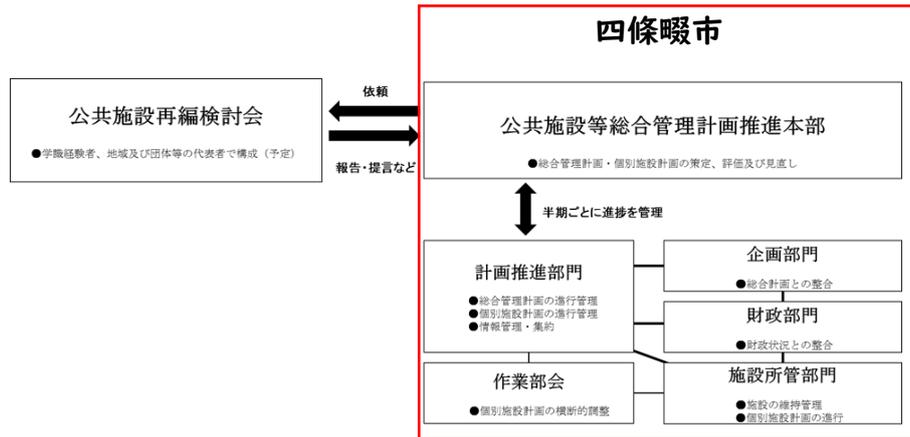
参考:総務省「インフラ長寿命化計画の体系」より

(2) 四條畷市公共施設等総合管理計画及び四條畷市個別施設計画【公共施設】の位置付け



出典:四條畷市個別施設計画【公共施設】P.2 より

(3) 四條畷市公共施設再編検討の位置付け



参考：四條畷市個別施設計画【公共施設】P.32 より編集

2. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する計画

(1) 四條畷市公共施設等総合管理計画(平成28年12月策定)

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/uploaded/attachment/3771.pdf>



(2) 四條畷市個別施設計画【公共施設】(令和2年1月策定)

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/uploaded/attachment/9044.pdf>



3. 四條畷市公共施設再編検討会の議事摘録

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/6/27182.html>



4. 委員提案

(1) 三輪委員 公共施設の方向性に関する視点

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/uploaded/attachment/12260.pdf>



(2) 川勝委員 まちのみせ ～民間とのコラボ～

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/uploaded/attachment/13545.pdf>



公共施設再編への想い

本報告書の内容とは別に、市における今後の公共施設再編に対する本検討会各委員の想いや要望等を記載したいと思います。

• 四條畷市個別施設計画への報告にあたって、検討した市庁舎をはじめ、15施設の再編案について、四條畷市在住の人が納得する、配置・機能など立案いただくよう要望します。

• 振り返るとこの会議は様々な意見が集い、それぞれの立場、関わり方、経緯、思いが共有できる貴重な機会でした。会議の進行もそれが尊重されながら、時勢に対応した工夫も凝らされた気配りの効いたものだったと思います。ただ時間が限られた中でのとりまとめは難しいところで、例えば、個々の目線を俯角（見下ろす角度）から考えると、共通してそこには角度の限界があるので、立ち位置が違くと見えるものが変わります。高みに立つと遠くが見えるけど足元が見えない。逆もしかり。すなわちこの段階でのまとめとしては、そのどれもが等しく尊重され、反映されることが重要で、そこから次の方向性への認識が進むと思います。会議での意見が広がりを持つとしても全体を時間的、空間的な軸で立体的におさめることも可能でしょう。場合によってはその区切りをもとに部分的にしろ、了解しやすい表現方法にて整理することも可能と思われます。会議成果が生かせるかはその作業にかかっているかもしれません。成果が貴重であるがゆえに今後の生かし方というアフターケアが我々全員に問われていると言えるでしょう。今後共よろしくおねがいします。

• 今回の会議に参加させて頂く時に、市の施設という、巨額の費用がかかる事は、どうも実感がわかなかったのも、自分の身の丈にある家計に置き換えて考える事しかできませんでした。収入と借りられるお金（補助金も含む）と、やりたいことのバランスを取って考えなければならないとも思います。小さな市である四條畷の身の丈にあった施設再編を目指すべきだと考えるようになりました。あれもほしい、これもほしいと夢ばかりを語っても先立つ物がなければ、達成できない。でも、少しはワクワクするような変化もさせたい。

• コロナ禍に突入してから、友人たちは、「夫のリモートワークが進み、入社しなくても仕事ができるようになった…」と言います。コロナ禍を経て、むしろ身近な「はこもの」は、四條畷市に必要があるのではないのでしょうか。汎用性のある「はこもの」の中で、市の行政のお仕事が行われ、どこかの会社のリモートワークをする人がいて、自習をする学生がいる。趣味に没頭する人もいる。それが化学反応を起こして、「きっかけ」「あたらしい考え」「つながる出会い」などが創出されたら、「はこもの」最高やん。

• 「もっと市民の声を聞いて」という意見も良く見かけますが、前市長時代から含めて、とても長い時間、学校施設・公共施設については、あまり動きがない「澱んだ沼」状態だと思います。市長は選挙で選ばれた存在です。どうぞ決断しちゃってください!ただ、失敗した時のために、また数年後に何かが起こって状況が変わっても(今回のコロナ禍なんて予測不可能な出来事でしたよね)対応できるように、汎用できる幅だけは、充分に取って頂けたらと願うばかりです。

• 持続可能な開発目標(SDGs)に「誰一人取り残さない」とあります。公共施設再編に取り組む視点に「誰もが利用できる魅力ある複合施設」とあります。障がい者になって思うのですが、現在、利用しにくい施設の多いこと。それが施設再編で解決すると期待します。施設を利用している人はなぜか明るいですね。年がいても心身が不自由になっても、何か活動できること、居場所が大事なのかも知れません。私も1人での行動が多かったのですが、みんなでガヤガヤも楽しいですね。市に魅力ある複合施設を作って頂き、私達市民が楽しい居場所にしたいものです。意見を聞いて頂きありがとうございます。

• 費用対効果にあうような施設統廃合を「無理なく」「無駄なく」スピード感を持って対応して頂きたい。特に旧南中跡地は、各委員の思いが強いようなので有効活用をお願いしたい。魅力的な街づくりを期待しています。

• 忍ヶ丘あおぞらこども園はもう少し中央に配置する方が良いことから、四條畷市シルバー人材センターがある場所に整備し、グラウンドは四條畷小学校と共有する。

その後の、忍ヶ丘あおぞらこども園の跡地は、岡山地区に公共施設の場所がないことから、コミュニティの場所として、緑あるこども公園を作ってほしい。

• 老人福祉センター楠風荘は、部屋を区切り過ぎて、狭くて使いにくい。また、風呂は要らない。もし、作るのであれば、四條畷南中学校跡地に防災機能と合わせて作る。老人はあの坂道は登れない。交通の便が悪い。

• 四條畷南中学校の跡地を、防災機能と資材置き場、公園整備することに、私も賛成です。その中でお年寄りが一緒に遊べる場所を整備してほしい。

- 市民総合センターは、高層階にして複合化してほしい。

• この検討会の発足理由の一つとして、市民総合センターが客席削減の上、他諸々の公共施設が、周辺道路が狭く駅からアクセスの悪い南中学校跡地に集約化する事に対し、多くの市民の方々の思いが受け止められ、あらためて見直しされる方向となり、この検討会の意義を深く感じ、毎回あつい思いで参加していましたが、幾度となくコロナ禍の為、会議が延期され、本来の市民の方々が気がかりであろう所の、南中学校跡地の活用が机上の空論になってしまったような感があります。南中学校跡地に避難場所の確保やこれに伴う入浴設備や、多様な機能で賑わいを出している民活事例なども提案しましたが、コロナ禍の為見学もままならず、最近では市庁舎の建て替えの意見に流れが。ならば、南中学校跡地を仮庁舎に有効利用するのも良し、ただ、耐震性のない教育文化センター・福祉コミュニティセンターなど類似機能と統合できることから、南中学校跡地へ機能移転を急がなければならない問題では！

• 一つだけ懸念していることがあります。行政側が未だに市民総合センターの事務所奥に鎮座している点。施設管理会社のラーニングコモンズに任せているのであれば、このおかしなシステムを改善しない限り、公民館どまりのホールのままだと思います。給食センターの事件があったように、少人数での管理は無駄ではありませんか？ある程度の期間は行政の目も必要であったと思われるが、杓子定規的な行政から、民活利用に移行することによりもっと利用者数も増えると思います。この意見は、公共施設再編検討会で発言する内容ではないと思っていましたので、控えていましたが・・・行く末には、公民館のような行政主導ではない、まさに「文化ホール」の再建の為に是非とも施設利用者としての長年の願いを込めてお願いしたいです。

• 公共施設の再編に係る時間軸においては、中長期的な視点からどのような展開を行っていくのが重要と思います。今後、想定される将来として、コロナ禍による価値観の変化や国の動向を見据えると、公共施設のあり方にも大きな影響を与えるでしょう。そうした中、行政としては、難しいながらも『市民サービスを維持しつつ、コストの縮減』に取り組まなければなりません。民間では、オフィスを半分にするなどの社会的な風潮が始まりつつあり、今後は、行政においても劇的な変化が起こるのではないのでしょうか。30年後、50年後にしっかりと『バトン』を繋いでいくために、将来の課題を見据えた検討をお願いしたいと思います。

